

# 「水辺感謝の日」各地で清掃

## 1万人規模の美化活動推進

(公財)日本釣振興会(高宮俊諦会長)では、今年も全国一斉・清掃デー「水辺感謝の日」を指定日の十月十八日(日)を中心に全国百九所余りの水辺で展開した。普段、釣りを楽しませてくれるフィールドや自然の恵みに感謝の思いを込めて続けている活動で、今年で二十一年目を迎えた。日釣振の各支部を中心に、会員企業の社員や家族、一般の釣り人などがボランティアとして参加しており、例年総勢一万人を超える規模の人たちが環境美化を実践している。

### 日釣振東京都支部

#### 若洲海釣り施設で清掃展開

日釣振東京都支部(常務 見英彦支部長)では十月十八日(日)、東京江東区の若洲海浜公園海釣り施設を中心に清掃を行った。

当日は清々しい秋空のもと、支部役員をはじめ会員企業である㈱上州屋や㈱ルミカ、㈱ツネミ、グロブライド㈱から社員と家族、一般の釣り人など八十名余りが参加した。

磯場エリアのゴミを拾い集める参加者

清掃に先立ち、午前十時前から開会式が行われた。まず、常務支部長が参加者にお礼を述べるとともに、「水辺感謝の日」清掃の意義や目的などを説明したあと、役員伊藤達也氏が清掃エリアを三つに分けて行うこととし、担当する参加者の振り分けを説明した。

続いて、日釣振の名称が入ったヒップスと、ゴミ袋や金バサミ、軍手など清掃グッズ一式が参加者



釣り施設でもゴミを収集

に配布され、それぞれの担当エリアに向かった。清掃範囲は、延長570mの海釣り施設堤防とそれを挟んだ左右の陸側。好天に恵まれた休日とあって、海釣り施設堤防には親子連れや友人同士など朝から多くの釣り客が訪れ、ほぼ満杯の状況だ。目立ったゴミはないものの、風で飛ばされた仕掛けのパッケージやタバコの吸い殻、ペットボトルの空き容器などを拾い集めたほか、釣り客に声をかけながらゴミを回収した。

### 日釣振神奈川支部

#### 清掃と稚魚放流など実施

日釣振神奈川支部(山口充支部長)では、十月四日(日)に「水辺感謝の日」の一環として横須賀市の荒崎海岸で清掃活動と放流事業を実施した。

清掃は、「水辺感謝の日」の恒例イベントとなっている「荒崎クリーンフェスタ2015秋」(共催)WADA地域の未来を考える会で行った。

当日は秋晴れのもと、家族連れなど地元住民ら約百名が集まり、荒崎海岸の水辺清掃を展開。また、きれいになった砂浜

### 日釣振高知支部

#### 清掃と親子釣り大会

日釣振高知支部(山本重人支部長)では、「水辺感謝の日」の十月十八日(日)、昨年に引き続き高知市・種崎千松公園前の種崎海岸で清掃活動を実施した。

当日は第九回親子釣り大会も同時開催され、朝七時三十分から受付を開始し、清掃を八時から約一時間にわたって行った。清掃には釣り大会の参加者五十一名と地元釣具組合、同支部役員・関係者、県内の釣具小売店や問屋社員、ボランティア(日)は、昨年に引き続き八十五名が参加した。役員数名が大半半に集合し、設置や準備などの作業をした。また、開始前には高知市内の小売店社員らが仕事前に清掃活動を行い、かなりのゴミが回収された。



高知市の種崎海岸を清掃①、親子釣り大会も同時開催②

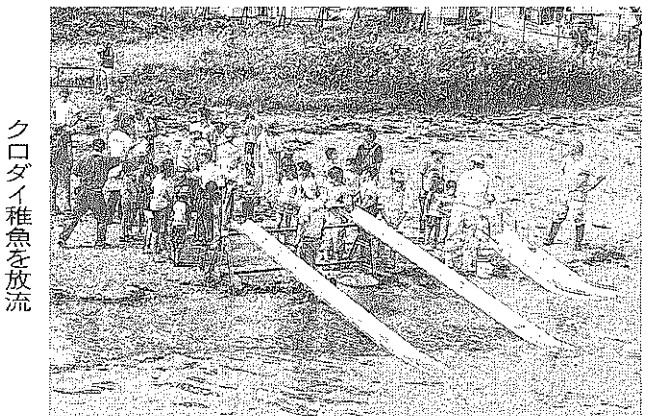
海岸を見ると、比較的きれいそうに見えるが、砂浜と堤防の境目などに6~8cmのクロダイ稚魚、エギ色塗りの体験やペーパーフィッシング体験のほか、地元・長井の特産品の試食販売、大道芸なども披露され、参加した家族も楽しんでいた。

その後、清掃された海岸で「親子釣り大会」を行った。この日は快晴となり、大会は約二時間続いた。大会は約二時間続いた。大会は約二時間続いた。

空き缶、ペットボトルなどゴミが数多く目についた。一時間余りの清掃でゴミ袋約百二袋が集められた。その後、清掃された海岸で「親子釣り大会」を行った。この日は快晴となり、大会は約二時間続いた。大会は約二時間続いた。



荒崎海岸で清掃を実施



クロダイ稚魚を放流



エギ色塗り体験なども